

糖尿病・内分泌内科

概 要

部 長：松 岡 直 樹

ス タ ッ フ：部長 1 名 医長 3 名

専 攻 医：当院プログラム 2 名（3 年目半年 x1、1 年目 x1）

他院プログラム 2 名（3 年目通年 x1 2 年目通年 x1）

年間入院患者数：約 300 名

一日外来患者数：約 70 名

【参加予定の学会および研究会】

内分泌学会、糖尿病学会、内科学会、甲状腺学会、内分泌研究会、甲状腺研究会

【認定教育施設】

日本糖尿病学会認定教育施設

日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設

日本甲状腺学会認定専門医施設

特 徴

1. 糖尿病教育入院はクリニカルパスで行っている。カンファレンスにはコメディカルも参加している。
2. 意識障害・昏睡（高血糖・低血糖）等の救急患者も多い。
3. 他科入院患者へも血糖コントロール、ホルモン調整に対応する。
4. 内分泌疾患がバラエティに富んでおり、専門医修得に向け十分な経験ができる。
5. 甲状腺癌 ^{131}I 治療は年間約 100 例行い、他施設からの依頼も多数受け入れている。
6. NET の RI 治療（ルタテラ®）甲状腺眼症の抗体治療（テPPERザ®）もしている。

一 般 目 標

全ての糖尿病内分泌疾患の診断および治療（生活指導を含む）ができるようになるための診療能力を身につける。数多い外来患者や救急患者にも対応できるようになる。研究成果を学会および論文で発表する。

行動目標

- 1年目：** 糖尿病・内分泌疾患に関する知識および検査技術を習得する。
入院患者の診察を確実に行うことができる。
救急患者の対応ができる。 内科専門医取得に必要な他分野の症例を経験する。
- 2年目：** 1年間連携病院での研修をする。（別のタイミングになることがある）
- 3年目：** 専門外来（糖尿病）患者の診察をスムーズに行うことができる。
臨床経験を深め、研修を完成させる。
後輩医師の指導ができる。
研究成果の発表を行う。

各年度での研修内容は状況に応じて個別に相談の上決定します。

専門医制度が変更となる場合などは、研修予定内容が変更となる場合があります

達成目標

1. 必須疾患に関して3年間でほぼ全ての疾患の主治医（もしくは担当医）になる。
2. 学会・研究会発表は毎年2回以上、論文発表は3年間に1編以上執筆を目標とする。
3. 基本3年目に糖尿病外来を週1回行う。外来患者数1日30名程度診察する。
4. 主治医として患者を担当し初期研修医の指導を行う。
5. 糖尿病内分泌領域の各種救急患者は1人で対応できるようになる。
6. その他
月1回の糖尿病教室の講師を務める。

週間スケジュール

火曜日	甲状腺穿刺細胞診、内分泌カンファレンス
水曜日	糖尿病カンファレンス 甲状腺カンファレンス（月1回） 糖尿病内科入院患者対象 糖尿病教室
木曜日	抄読会もしくは学会・研究会発表予演会等
その他	糖尿病教室（一般対象、第一水曜日 年10回）

専門研修プログラム

神戸市立医療センター中央市民病院内科専門研修プログラムは、当院ホームページをご参照ください。

URL：http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident

見学等問い合わせ先

松 岡 直 樹：nmatsuoka@kcho.jp